



2020年7月号 Kick-off / EMC の月

主 題	国際会長：Jacob Kristensen (デンマーク) 「TRUST IN THE RIVER OF LIFE 命の川を信じよう スローガン：価値観、リーダーシップ、エクステンション アジア太平洋地域会長：David Lua (シンガポール) (Make a difference) 変化をもたらそう 入-がソ 奮い立たせよう 西日本区理事：古田裕和(京都トウビークラブ) "Let's do it now!" 副題：「2022に向け誇りを持って All is well」 阪和部長：中井信一(奈良クラブ) 「寄り添う。忘れない。」 Stay with you .Never forget you. 和歌山クラブ会長：濱口 洋一 「今だからこそ出来ること」
	会長＝濱口 洋一 書記＝神谷 尚孝 会計＝吉田 絹恵 次期会長＝安藤 元二

7月 例会のご案内

日時：7月16日(木) 18:30～20:30
会場：和歌山YMCA 6階ホール
司会：吉田 絹恵
プログラム：
食前感謝：
開会点鐘 会長 濱口 洋一
ワイズソング 一同
会長就任挨拶 会長 濱口 洋一
会務報告 会長・他
7月お誕生日お祝い
ゲストスピーチ：『アフターコロナで必要性の増した、ITの活用と習得について』
Career I (キャリアアイ)
代表 石川 礼子 様
YMCA の歌 一同
閉会点鐘 会長 濱口 洋一
* 出欠を、7月13日(月)までに、書記：神谷
Tel 090-2197-6117 へご連絡下さい。

会長就任に当たって



会長 濱口 洋一
ワイズに入り活動させていただき4年目の私が引き受けるのはなかなか重い役ですが、和歌山クラブ2020年度会長を務めさせていただくことになりました、濱口洋一です。

昨年度の前会長、内藤さんの主題が「新たなる創造を」とのことで私もその思いを継ぎ、会員増強につながることやワイズの魅力を発信できればと色々考えていたのですが、今年はじめから新型コロナウイルスCOVID-19が流行し始め緊急事態宣言まで出ました。幸い感染者数は下火になり緊急事態宣言は解除されましたが、まだまだ第2・3波と予断を許さない状態が続いております。そんな事態で「新たなる創造を」と外に向いていた意識が180°変わりました。

本年度のクラブ主題は「今だからこそ出来ること」とさせていただきます。和歌山クラブでもZOOMによる委員会などをしました。これはやはりこの状況下だからこそ出来たことだと思います。このような状況下だけでも出来ることをクラブの皆さんや多くの協力してくれる人たちと見つけ・話し合い・臨機応変に対応し・実行できるように出来ればと思います。

この事態で色々制限もあり大変なクラブもあると聞いておりますが、幸い和歌山クラブは3ヶ月ぶりに先月6月から例会が皆様の熱い想いで再開されました。

まだまだ何が出来るか模索中で、はなはだ頼りない会長ですが、クラブの皆さんや多くの人にご協力を頂き、どうぞ一年間よろしくお願い致します。

今月の聖句

恐れることはない、わたしはあなたと共にいる神。たじろぐな、わたしはあなたの神。勢いを与えてあなたを助け、わたしの救いの右の手であなたを支える。

イザヤ書 41章 10節

7月 強調月間のポイント

新たな自分、そして新たなメンバーを迎え入れる体勢を心がけよう。

EMC 事業主任 竹園 憲二(京都 ZERO クラブ)

会長標語

「今だからこそ出来ること」

目指そう 30 会員増強!

6月	在籍	出席	メイクアップ	ネット	ゲスト	ビジター	出席率	B F	切手	現金	BF計
	16名	10名	0名	1名	5名	5名	76.9%				円
(広義3)		活気率		131.0%					年度合計		円

6月 委員会報告

書記 神谷 尚孝

日時：2020年6月10日（水）20:00～21:00

（参加者の都合で1日早めて開催した。）

会場：各自自宅 コロナ禍の為にZoomミーティング

出席：日常メール発信先の10名の会員へ呼び掛けした
が参加者は、内藤・濱口・安藤・藤田・神谷
協議題

1. 6月例会について

司会：吉田絹恵 食前感謝：安藤元二
来訪予定者：次期阪和部長 中井信一様・紀の川クラ
ブ会長大谷茂様・泉北クラブ遠藤様・正野様
日本語科留学生を10名招待する。

「会長交代式」 司式 中井次期部長
ゲストスピーチは「和歌山の自然災害予測と私達の
備え」和歌山市危機管理局 地域安全課主事 三宅洋
佑様ともう一人（謝礼不要）

2. 7月以降の例会プログラムについて

現時点で決定したものはなし。安藤さんをはじめ皆さん
からの推薦をお願いします。8月は例年同様に納涼
例会（前会長慰労会）とする。詳細は後日に決める。

3. 次年度の委員会構成について

別紙の通り決定した。6月末日退会者：土橋さん・
吉村さん・梅野さんの3名

4. 和歌山YMCAでの会員の役割

病院ボランティア活動：吉田
チャリティークリスマス：安藤
YMCAチャリティーラン：濱口
クリスマス募金：濱口・堀井・安藤
YMCAカーニバル：吉田・市川・東
（今年度は開催なし）

ワイ！＼！プログラム：市川・堀井
留学生サポートの会：市川・神谷・神谷×・吉田
理事： 常議員： 学校評議員：濱口

5. 会計より

- 1) 4月5月の例会の食事費を返金あるいは次年度の活動費に繰り入れる。
- 2) 西日本区費前期分が不要となった。その額を西日本区「新型コロナ募金」と、和歌山YMCAの「ポジティブネット募金」へ1/2ずつ寄付する。
- 3) 広義会員の会費は（東秀美・井之上芳雄・岸本修平）現状のまま据え置く。

6. 阪和部第4回評議会・第1回評議会の出席者確認

6月27日（土）第4回へ内藤会長（市川メネット
主査は体調不良で欠席する）第1回へ濱口次期会
長、次期交流主査の東さんが出席する。

*11日の朝、FAXで、『ニコニコメッセ』に1千
円入れるのが習慣になっている。それを負担に感じる方
が居るので、お金を入れるのを無くしたらどうか』との
意見あり、今後皆さんのご意見を伺う事になった。

6月 例会報告

書記 神谷 尚孝

日時：2020年6月18日（木）18:30～20:30

会場：和歌山YMCA 6階ホール

出席者：ゲストスピーカー 「和歌山市危機管理局
危機管理部地域安全課」主任 三宅洋佑様
金丸靖志様

2020年度阪和部部長:中井信一様・事務局長:濱田勉
様(奈良)・広報委員長:正野忠之様(泉北)・次期部
長:大谷茂様(紀の川)・和歌山Y総主事:加志勉様
留学生3名（氏名は4頁の感想文を参照）

和歌山クラブ：安藤・市川・神谷・阪口・内藤・
濱口・東(正)・藤田・吉田・吉村・神谷×

プログラム

内藤会長よりご出席者の紹介に続き会食。

定刻7時に開会点鐘・諸報告

- ① 西日本区前期会費@7,500が不要となった分
で、「新型コロナ基金」と「和歌山YMCAポジ
ティブネット募金」へ1/2ずつ寄付することを
諮り承認された。
- ② 2020年度役割分担表が承認された。
- ③ 土橋・吉村・梅野3名の退会が報告された。
- ④ 和歌山YMCAでの委員会所属は、ほぼ決まっ
ているが、更に積極的な参加を要望。
- ⑤ 吉村佐知子さん（25年間在籍）より、退会のご
挨拶がなされた。

中井信一部長よりパワーポイントを使用して、主題
「寄り添う。忘れない。」 Stay with you .Never
forget you.の説明と協力の要請がありました。

ゲストスピーチ『和歌山市の自然災害予想と私達の備
え』と題して、豊富な資料と映像で地域安全課より説
明して戴きました。

会長交替式が中井部長の司式で行われ、内藤陽介さんか
ら、濱口洋一さんへ会長バッジは引き継がれ、
濱口会長の点鐘で閉会しました。





6月 ニコニコメッセージ ¥4,000 円

安藤：とりあえずのコロナ明け例会、久しぶりで楽しめました。

神谷：コロナ禍の中、中井部長始めご出席下さいました皆様に感謝！ 当分、三密を守りましょう！

東(正)：コロナの影響を受けて、2ヶ月休会した例会を中井部長様の公式訪問と会長交替式で再開。本当に良かったです。内藤会長ありがとう御座いました。

吉田：自然災害・地震対策に関して、講演を聞き、我が家の防災用品のチェックリストの再確認の必要性を感じました。忘れた時期にこの機会を下さったことに感謝します。中井阪和部長を迎え、会長交代式が無事終了しました。ありがとうございました。

阪和部 新旧評議会報告

東 正美

日時：2020年6月27日(土) 13:00~14:45

会場：大阪市西区 江戸堀連合会館

第31期(2019~2020) 阪和部第4回評議会

- ・飯沼部長の開会宣言で開会 参加：23名
- ・クラブ会長・事業主査・委員長・担当主事報告
和歌山クラブの内藤会長はZOOMで参加。
- ・第1号議案：第31回阪和部第3回評議会議事録を承認。
- ・第1号協議案：阪和部新年合同例会とホストするクラブの選出について(飯沼阪和部長より)

協議内容：前回からの継続協議

提案理由：従来での部長選出の輪番に問題点が生じている為、阪和部の将来構想を見据えて、早急に議論してほしい。

●奈良クラブより提案

2021年春に奈良クラブが70周年を控えているので、2021年1月の新年合同例会のホストと2つのプログラムを同時に開催したい旨の提案があり、一同承認。

~~ コーヒブレイク ~~

第32回(2020~2021) 阪和部第1回評議会

15:30~17:00 参加：22名

和歌山クラブから濱口会長・東国際交流事業主査

・中井信一阪和部長の開会宣言で開始

ワイズソング 部長挨拶

クラブ会長・事業主査・委員長・担当主事報告

・協議

第1号議案 部長の活動方針・計画について発表
標語「寄り添う。忘れない」

部行事予定

- ・第1回評議会(2020年6月27日)
- ・阪和部会(2020年9月12日奈良ホテルはキャンセルした。)会場等については検討中。
- ・第2回主査会・評議会(2020年10月17日)
- ・新年合同例会 ホスト奈良クラブ
濱田実行委員長 詳細未定

・第3回主査会・評議会(2021年2月20日)

・第4回主査会・評議会(2021年6月)

・YYYフォーラム 未定

・EMCシンポジウム 未定

・メネットの集い 未定

・和歌山YMCAチャリティーラン 未定

・奈良YMCAチャリティーラン 未定

・大阪YMCAチャリティーラン 9月26日開催

第2号議案 第32期阪和部役員選出の承認について 承認

第3号議案 第32期阪和部予算案について
事業主査現6名から7名へ

将来構想委員会委員長を組み込む 承認

その他 阪和部報は年2回発行する。

2020年7月1日付発行(7月末発送予定)

2021年6月30日付発行(2021年6月末
発送 予定)

「メレル・ヴォーリスのこと②」

安藤 元二



YMCAとヴォーリスのご縁から始まった近江兄弟社学園は、和歌山県とは馴染みが深くみなべ町の労務学園(榊崎牧師)と交流があり、学校のサマースクールは南部の海岸でよく開かれており、寶貝など珍

しかった海の貝殻類、岩場で足を切ったこと、また小学校の修学旅行も紀伊半島一周(1週間)で京大の臨海水族館や橋杭岩などを憶えております。その頃鉄道も尾鷲~木ノ本間が未通でバスで山道を揺られたこと、また和歌

ワイズメンズクラブ例会に参加して

*6月例会に参加した日本語科留学生の感想文です。

1. LEASURE BRANDON LEON

(リージャ ブランドン レオン) 米国男性

皆さま、今回の和歌山ワイズの例会に参加させていただきありがとうございました。今回は、和歌山市役所危機管理局地域安全課の職員の方々が、講師してYMCAに来てくださって、私たちは、防災のお話をお聞きしました。具体的には、和歌山で津波や地震が発生したら、どうすればいいのか、災害が発生する前に、どのように準備したらいいのかを教えてくださいました。今回のお話を聞いて、色々大事な準備をするべきだということがわかりました。感謝しています。

2. 石 子涵(セキ コカン) 中国男性

和歌山クラブの例会にお誘いいただき感謝致します。今回、私たち留学生にとって、とても役に立つことを学びました。それは、自然災害に関する防災知識や家具の扱い方などです。地震発生時の災害予防のために、意識しておくことが大切です。今後、このような防災知識を、他の外国人にも伝えたいと思いました。

3. PHOTARAM SARAWUT

(ポーターラーム サラウト) タイ男性

私は、和歌山クラブの例会に参加させていただくのが今回で2回目です。今回は、前回よりお話がよく理解できました。災害が起きたとき、まず、何をしなければならぬかについて学びました。また、日本人がどうして災害のことを大事にするのかわかってきました。災害が起きると、とてもひどい被害を受けます。私は、今回聞いたことを、生活にいかしたいと思います。

7月 和歌山 Y's / YMCA 予定

YMCA 学校・NPO ともに通常のプログラムに戻っています。7月初旬、書面総会を行います。

4日(土) 18:30~ 和歌山紀の川クラブ例会

9日(木) 18:00~ 和歌山クラブ委員会

16日(木) 18:30~ 和歌山クラブ例会

8月1日(土) 18:30~ 紀の川クラブ例会

13日(木) 18:00~ 和歌山クラブ委員会

7月誕生日おめでとう

★★★ 12日 岸本 周平 様 ★★★

★★★ 14日 内藤 左智代 様 ★★★

★★★ 27日 井之上 芳雄 様 ★★★

★★★ 31日 濱口 洋一 様 ★★★

山の鉄道はトンネル、海、トンネル、海の連続でビックリもしました。また伊勢で日程が合わなくなり1日延長・・・のんびりした時代でした。そのころ新宮市に有名な西村伊作という建築家がいる、名前は旧約聖書に出てくるイサクからとったという話も聞いたと思います。

メンソレータム(軟膏)は、アメリカの友人がヴォーリスに日本で伝道資金として製造販売権を与えてくれた。売行きは好調で“日本全国一家に一つ”と薬問屋からも注文が殺到し大変な利益を生み、社会伝道活動にまわされた。近江兄弟社グループはほかに西洋建築資材やハモンドオルガンの輸入販売も手掛けていたが、会社名が示すようにユートピアを目指し給与制度も家族の数ですべて決まり、住宅も会社が手当てしていたが、これが後々財務悪化の一因ともなったという。

日本名一柳米来留は「米国から来て日本に留まる」という意味でした。日本に帰化し、連合軍(GHQ)司令長官で小学生時代に縁のあったマッカーサー元帥と近衛元首相との会談を取り持ち、また天皇制の存続を訴えたとも同っています。

ヴォーリスは私が近江兄弟社中学卒業の時証書を手渡される予定のところ病で倒れましたが、私のいた県立高校(旧彦根中学)でも聖書研究会を開き、また一時大学の講師も務めていた様でご縁を感じます。

伝道活動は子供の頃のことでよく覚えていませんが「湖畔の声」という雑誌や琵琶湖に浮かぶガリラヤ丸や結核療養病院、幼稚園、小中高等学校、メンソレータム工場で働く定時制女子高校生など多くの社会活動を通して行われていたかと思えます。

学園は戦後からもう週5日制(土日休)でその分1日当たりの授業が長めで、変わったところでは「聖書」の時間がありました。日曜日は教会(参加は自由)となっていました。英語は小学校のころから発音練習や歌などを教えられ、アメリカから旅行中に滞在された Mr.&Mrs. アンダーソン夫妻(アメリカのクリーニング屋さんとか…)が各生徒にイングリッシュネームをくれました(私の名はアレン ALLEN でしたか…)。毎日朝礼があり聖書、賛美歌続きでオルガンの音が今でも耳に残っています。友人には関学の神学部に進んだ子もいますが私は洗礼は受けていません。兄弟社学園は1学年25人程度と少なく友達は家族みたいな感じでしたが、さすがに高校は1学年400名の彦根の県立校を志望しました。

全員で会員増強に取り組みましょう!